

# 学習環境の充実を訴える

神奈川県議会議員  
民主党・かながわクラブ きしへ 都

2012年度の予算案を

審議する県議会本会議で2月22日、黒岩知事らに一般質問を行いました。

私は子どもの知識基盤を確立するための教育の充実

と、親への就業支援による生活の安定など、貧困の連鎖を断ち切る対策の強化が必要だと強く感じています。その思いから、教育問題を中心に質問しました。

私は子どもの知識基盤を確立するための教育の充実

と、親への就業支援による生活の安定など、貧困の連鎖を断ち切る対策の強化が

必要だと強く感じています。その思いから、教育問題を中心に質問しました。

私は子どもの知識基盤を確立するための教育の充実

と、親への就業支援による生活の安定など、貧困の連鎖を断ち切る対策の強化が

必要だと強く感じています。その思いから、教育問題を中心に質問しました。

県立校の老朽化対策

県では07年度から10年間、約1千億円の規模で教育施設の再整備を行う「まなびや計画」を実施中です。

現状、施設の耐震化に重点を置いていますが、県立学校の老朽化も深刻な状況で

環境整備が遅れています。

耐震化と県立学校の校舎老朽化対策、学習環境の充実

奨学生制度の維持を

高校の授業料無償化は実現しましたが、経済的に困窮する高校生への支援は

生活保護の教育扶助や奨学金に頼つてするのが実情で

みなさまからのご意見、ご要望をお待ちしています

きしへ都政務調査事務所

南区通町2-25-3 千々輪ビル1階

☎045-341-3385

<http://kishibe-miyako.com/>

う方針を示しました。

堀割川の不法係留船

南区を流れる堀割川な

ど、大岡川水系の河川は物

資の輸送に利用されてきま

したが、以前からブレジャ

ーポートによる不法係留が

問題になっています。景観

の悪化だけではなく、豪雨

や津波などの増水時に川の

ことは事務所までお電話下さい。



をバランス良く実施することが必要だと訴えました。同時に苦しい財政状況の中、同計画の早期完結を目指すため、「まなびや基金」への寄付を求める告知や財源確保策を強化すべきと主張しました。藤井教育長は「優先度を判断しながら、計画的な老朽化対策や学習環境の充実に努める」と答弁しました。

一方で、基金の周知強化を行った結果、「まなびや基金」も貸付規模を維持し、返還義務の免除も続けるべきだとの主張でした。教育長は「14年度までは現在の仕組みを維持し、それ以降は国に交付金の引き上げを働きかけていく」と答えた。

タウンミーティング

3月18日(日)午後2時から南公会堂1階会議室で開催します。気仙沼の支援を行ないます。お申込みください。

「被災地の子どもを支援する神奈川市民の会」の奉好子さんの講演「被災地支援から学ぶ震災対策」地域で顔が見えていますか?を行います。参加希望の方は事務所までお電話下さい。